※令和４年度以降入学生用

学校番号	T3011

令和５年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅰ	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	高校数学Ⅰ（実教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・週に１回の授業です。理解するためには授業以外での学習が必須です。
・課題提出を定期的に要求します。授業時間外の学習で何がわからないかをはっきりさせながら課題に取り組むようにしましょう。
・毎時間プリントを提出してもらい、理解しきれていないところの把握をします。

２　学習の到達目標

２次関数、データの分析についての基礎的な知識や技能を習得します。
また事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにします。さらに、それらを実生活に活用する態度を身に付けることを目標とします。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数と式、図形と計量についての基本的な概念や原理・法則を理解している。 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。	数や式を目的に応じて適切に変形する力、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力を身に付けている。	自ら考える姿勢を持ち、粘り強く考え、数学的に考察しようとしている。 自分の学習態度を振り返り、改善しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th rowspan="2">単元(題材)の評価規準</th><th colspan="3">評価方法</th></tr>
<tr><th>知(a)</th><th>思(b)</th><th>主(c)</th></tr>
<tr><td rowspan="3">前期</td><td>関数とそのグラフ</td><td>・1 次関数とそのグラフ
・2 次関数とそのグラフ</td><td rowspan="5">a:・基本的な計算や解法を理解しているか。
(方程式の解法、関数の見方、２次方程式・不等式の計算、集合と要素の考え方、グラフの読み取りなど)

b:・日常の事柄を、関数を活用して数学的に表し、考察しているか。
・さまざまな証明の方法を、使い分けたり、組み合わせたりしているか。
・数値化できる事柄について、適切なグラフを選び、表すことができるか。

c:・授業ﾌﾟﾘﾝﾄに自分の言葉で書き込みをしているか。
・自分の学習を見つめなおし、改善しようとしているか。
・積極的に発言し参加しようとしているか。</td><td rowspan="5">プリント
小テスト
定期考査
など</td><td rowspan="5">プリント
授業観察
など</td><td rowspan="5">プリント
発問への反応
Google フォーム提出
など</td></tr>
<tr><td>2 次関数の値の変化</td><td>・2 次関数の最大値・最小値
・2 次関数のグラフと 2 次方程式
・2 次関数のグラフと 2 次不等式</td></tr>
<tr><td rowspan="2">後期</td><td>集合と論証</td><td>・集合と要素
・命題
・いろいろな証明法</td></tr>
<tr><td>データの分析</td><td>・統計とグラフ
・度数分布とヒストグラム
・代表値
・外れ値
・相関関係
・仮説検定の考え</td></tr>
</table>

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度